

2015 年
入試用

学校説明会レポート



都立国分寺高等学校

日時 2014 年 5 月 21 日 (水) 10 時 30 分～11 時 50 分
所在地 国分寺市
会場 校内
対象 塾
出席者数 約 60 名
配付資料 平成 26 年数学・英語自校問題・解答用紙・昨年度大学入試結果一覧・オープン
スクール (7 月 30 日、31 日) についてなど

説明会の概要

あいさつ

広報部長 10:30～10:35

- 平成 26 年の推薦入試には大きく 2 つの変更点がありました。1 つは作文が小論文になったこと、もう 1 つはパーソナルプレゼンテーションを廃止し、1 人 10 分程度の個人面接を行ったことです。この選考方法の変更による結果は 3 年後の卒業の時点で判明することでしょう。
- 平成 26 年春の卒業生の大学合格状況ですが、今年度は国公立大学合格者が現役 86 名 (現浪合計では 117 名) と、昨年度の現役 83 名 (現浪合計では 109 名) からやや増加しました。私立大に関しても早慶上智いずれも昨年度とほぼ変わらない合格者数となりました。

推薦・一般入試における入試問題のポイントなど

10:35～11:00

- 推薦入試に関する変更点の一つは前述したとおり、作文から小論文になった点です。小論文の検査時間は 50 分で、2 問出題されます。今年度の問題は問 1 が「食品ロスについて述べられている文章を読み、ロスを減らすための対策について具体的にまとめる」という問題で、問 2 は「食料のロス・廃棄量に関するデータを読み取り、2 つの地域に関して違いとその原因を示す」という問題でした。文字数は両問とも 180～220 字でした。この小論文問題のポイントは設問の意図を正確に理解できているかということです。さらに文章から主題を掘り下げデータを正確に読み取ることができたかということです。

も大きなポイントとなります。

- 二つ目の変更点であるパーソナルプレゼンテーションの廃止にかわる個人面接の実施については、1人10分程度で一般的な質疑応答でした。
- また、1月26日に行われた集団討論では「商品の価格は、安いほうがよいか」というテーマに沿って、6～7名のグループで討論をしてもらいました。ここでの討論とは積極的な意見交換のことであり、ディベートと違い、周りを説き伏せるものではないということがポイントです。自分の意見をきちんと説明でき、かつ周りの意見も聞きながら全体をまとめていくことができるかを見たいと考えています。持ち込めるものは筆記具のみで、テーマが発表された後、3分間で自分の考えを整理し、できた人から1分程度で発表します。全員が自分の意見を発表した後、討論を開始するという流れです。
- 一般入試での学力テストの入試結果ですが、受験者は男子249名、女子170名のうち男子は148名が（その後2名が辞退）、女子は111名が合格しました。グループ作成問題の受験者平均点は国語が65.7点、数学が57.9点、英語が66.7点でした。平均点等の情報はHPにて公開しています。公開している以上の情報に関してはお伝えできません。学力検査がグループ作成になったため、受験者には本校の過去問題だけでなく、新宿高校・墨田川高校の過去問題も解いて傾向を研究しておいてほしいと思います。

自校作成問題の解説と入試結果について

各科担当 11:00～11:30

- 《数学 岩下先生》大問①が自校作成問題、大問②～④がグループ作成問題でした。正答率が低かった問題は大問②の問3（正答率2割強）と大問③の問2の(2)（正答率1割強）、大問④の問2（正答率2割）でした。その他気になる点としては大問④で、時間がなくなっているからか、問1のように比較的簡単と思われる問題が5割程度の正答率だったことです。試験問題は1問目から解かなくてもかまわないので、自分の得意な分野をしっかりと得点することが大切です。また、記述問題の得点の低さが目立つので記述問題をしっかりと勉強してきてもらいたいと思います。採点者側が「読んであげなければならない」解答が年々増えてきているので、解答にいたる説明する力を付けてもらいたいです。
- 《国語 渡辺先生》全体として記述および作文の問題の正答率が低かったです。大問①の漢字の問題では最後の2問は「火急」と「大団円」という比較的簡単な漢字を問う問題でしたが、語彙力の差が出たようです。大問③の説明的文章の問2・3・5は自校作成問題でしたので比較的難易度が高い問題でした。正答率も低く、問5に関しては白紙解答も見られました。大問④では解答が必要となる語句に含まれる「喪」と「籠もる」という漢字を写し間違える受験生が多く見られました。落ち着いて解答してほしいと思います。
- 《英語 木下先生》リスニング問題ですが、年々難易度が上がってきている傾向にあります。記号で答える選択問題でも正答率が低く、問題BのQ2については正答率が1割

に満たない結果となりました。old Tokyo を all Tokyo と聞き間違えた受験生も多かったようです。音と音のつながりを意識して勉強してみてください。大問②はグループ作成問題のため、昨年度までと比べて短い会話文の問題となりました。Q5で差がついた印象があります。大問③は自校作成問題のため、比較的難易度の高い問題となりました。Q3の「対になる言葉」という意味をしっかりと意識して解答できたかというところがポイントです。問題文もしっかり読んで理解してほしいと思います。大問④では最後の作文問題で差がつかしました。簡単な語彙でかまわないので、問題の趣旨にあった答えを書くことが大事です。全体としての対策はリスニングに関してはとにかくよく聞く、音読することが重要かと考えます。

説明会の雰囲気・印象

- 全体的に説明者の声がやや小さかった印象です。資料はほとんど画面で提示したもののみで、すぐに消えてしまうので、具体的な数字等はその場では把握しきれませんでした。HPで公表するとのことでした。問題解説は正答率中心で、ときおり対策に触れることがありました。

学校周辺の環境

- 閑静な住宅地の中に位置しており、周辺には緑も多く、静かな環境に位置しています。

交通

- JR 中央線 国立駅からバス約 10 分
JR 中央線 国立駅から徒歩 20 分
西武国分寺線 恋ヶ窪駅から徒歩 25 分